

令和5年度 農作物病虫害発生予察3月月報

令和6年(2024年)4月5日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
3.1	5.9	7.4	△ 1.5	10.7	13.1	△ 2.4	1.2	2.3	△ 1.1
3.2	6.8	7.8	△ 1.0	11.4	13.8	△ 2.4	2.6	2.6	0.0
3.3	9.0	8.5	0.5	16.2	14.7	1.5	2.5	3.0	△ 0.5
3.4	9.5	9.3	0.2	14.8	15.5	△ 0.7	4.6	3.8	0.8
3.5	10.8	9.9	0.9	14.8	16.0	△ 1.2	7.3	4.4	2.9
3.6	14.1	10.7	3.4	18.9	16.8	2.1	9.7	5.2	4.5
平均・計	9.4	8.9	0.4	14.5	15.0	△ 0.5	4.7	3.6	1.1
月・半旬	降 水 量 (mm)			日 照 時 間 (h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
3.1	42.5	21.0	21.5	21.1	23.1	△ 2.0			
3.2	4.0	22.3	△ 18.3	22.4	24.3	△ 1.9			
3.3	16.0	23.5	△ 7.5	40.9	25.6	15.3			
3.4	15.0	25.4	△ 10.4	27.3	26.2	1.1			
3.5	59.0	25.8	33.2	15.5	26.5	△ 11.0			
3.6	61.0	29.8	31.2	29.8	33.0	△ 3.2			
平均・計	197.5	147.8	49.7	157.0	158.7	△ 1.7			

II 作物の生育状況

- コムギ : 平年に比べ降水量が多く、湿害が散見される。茎数は平年に比べやや少～平年並の状況、出穂期は、平年並～やや早い見込み。
- イチゴ : 2月の日照時間が少なく生育が鈍化したことから3月の収量は減少したが、4月以降は回復する見込み。
- タマネギ : 気温が平年に比べ高めに推移しており、生育は平年に比べ旺盛に推移している。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作

2024年3月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
コムギ (調査ほ場数:17) うどんこ病、さび病類	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—
縞萎縮病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.5% (平年0%)、発病莖率14.6%(平年0%)、 発病面積率15.0%(平年0%)で平年に比べ 多かった。	県内全域	甚多 少 計
黄斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年11.8%)、発病莖率0%(平年4.9%)、 発病面積率0%(平年1.2%)で平年に比べ少 なかった。	—	—

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平年14.6%)、発病葉率0.1%(平年 0.9%)、発病度0.0(平年0.2)、発病葉枝 率0.1%(平年1.3%)で平年に比べ少な かった。	県内全域	少 56
そうか病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.8% (平年3.6%)、発病葉率0.4%(平年 0.1%)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 167
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.3% (平年19.6%)、寄生葉率2.0%(平年 1.2%)で平年並みであった。	県内全域	少 278
ナシ (調査ほ場数:9) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平年27.2%)、発病枝率0%(平年 0.3%)、発病芽率0.0%(平年0.1%)で平 年に比べやや少なかった。	県内全域	少 9

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ (調査ほ場数:20) 灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年16.1%)、発病株率0.3%(平年 1.7%)、発病果率0.1%(平年0.3%)で平 年並みであった。	県内全域	少 10
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年7.6%)、発病株率0.1%(平年 1.0%)、発病葉率0.1%(平年0.2%)、発 病果率0.0%(平年0.1%)で平年並みで あった。	県内全域	少 5

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イチゴ 菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。	—	—	
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年19.3%)、寄生株率6.0%(平年 1.5%)で平年に比べ多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多	5
			少	25
			計	30
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年40.6%)、寄生株率5.2%(平年 14.4%)で平年に比べやや少なかった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	中	5
			少	20
			計	25
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.0% (平年38.2%)、寄生花率2.8%(平年 4.3%)で平年並みであった。 主要種はヒラズハナアザミウマであっ た。	県内全域	甚	5
			多	5
			中	25
			少	10
計	45			
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年29.0%)⑪、寄生株率0.8%(平年 6.6%)⑨で平年に比べやや少なかった。 主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少	10
タマネギ (調査ほ場数:28) べと病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年6.4)、発病株率0%(平年0.5%)、1 a 当たり調査では、越年り病株(一次感染 株)の発生ほ場率21.4%(平年10.0%)、 発病株数0.9(平年1.8)で平年に比べ多 かった。また、3月11日~12日の県内一 斉調査(153ほ場)では、発生ほ場率 20.3%(平年13.3%)、1 a当たり越年 り病株(一次感染株)数3.0(平年2.7) で平年に比べやや多かった。一部連作ほ 場で多発生が認められた。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年6.5%)、発病株率0%(平年0.5%)、1 a 当たり調査では、越年り病株の発生ほ 場率17.9%(平年13.6%)、発病株数 0.4(平年0.8)で平年に比べやや多かつ た。 3月12日、山口市、防府市で二次感染株 の初発生を認めた。	県内全域	少	36

2024年3月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
タマネギ 白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年3.6%)、発病株率2.0% (平年0.8%)、1a 当たり調査では、発生ほ場率7.1% (平年8.2%)、発病株数5.0 (平年11.5) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年4.6%)、発病株率3.4% (平年0.4%)、1a 当たり調査では、発生ほ場率10.7% (平年10.7%)、発病株数22.9 (平年4.0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	甚	6
			多	6
			計	12
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年2.9%)、発病株率0.2% (平年0.1%)、1a 当たり調査では、発生ほ場率7.1% (平年10.4%)、発病株数0.6 (平年0.3) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平年3.6%)、発病株率0.4% (平年0.3%)、1a 当たり調査では、発生ほ場率14.3% (平年14.3%)、発病株数0.8 (平年1.3) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多	6
			少	6
			計	12
ボトリチス属菌 による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.7%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—	
さび病	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並みであった。	—	—	
軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 3月12日、山口市で初発生を認めた。	山口市	少	1
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	—

お問い合わせ先

山口県農林総合技術センター(山口県病虫害防除所)

TEL (0835) 28-1211(代)